



# 与路小・中学校 学校だより

瀬戸内町立与路小・中学校 学校だより「与路っ子」令和6年度9月号

# 与路っ子 9

## 「八月踊り」

校長 川井 功作

2学期がスタートし度重なる台風が発生。各学校では運動会の開催が懸念される所です。以前、台風の発生は赤道近くで発生し約一週間ぐらいかけて奄美に接近、通過していたが今年はやはり猛暑のせいか発生する場所の緯度が高く2・3日で影響が出てきている。これも地球温暖化の影響でしょうか。これまで深刻な被害等はありませんが、日頃から災害についての知識や備えが必須である。

さて、話題は変わりますが先日、旧の8月15日（十五夜）で与路集落でも八月踊りが実施されました。留学生の子ども達も加わり、年々参加人数も増えてきてるのではないのでしょうか。本校では毎年集落の皆様の手ほどきを受けながら八月踊りの練習に取り組んでいます。そこで、今回は奄美の八月踊りについて少しふれたいと思います。

八月踊りは、鹿児島県・沖縄県で旧暦八月にイネの収穫を祝って踊られる踊りである。日程は集落ごとに異なるが、数日かけて、時には夜通して集落内の全戸を順に回りながら路や庭で踊る習わしであった。現在では、簡略化されて集落内の広場で踊ることが多くなった。奄美大島では毎年旧暦八月に考祖祭という祭りが催され、新米で赤飯を炊き、神前に供え、五穀豊穡を祈り、感謝の気持ちを捧げる。この祭りは八月に3回行われ、第1回は新節（あらせつ）といって第1の丙の日に行われ、第2回は柴挿（しばさし）といって第1回目から9日目の甲の日に行われ、第3回目は嫩芽（どんが）といって八月の後の甲子の日に行われる。これを三（み）八月という。甲子の日はネコ（猫）が子を産む日であるともいわれ、多産を意味する。この日は老若男女が列を作って各家を回り、庭に円陣を作って中央に篝火を焚き、歌を歌い、太鼓を打ち鳴らし、足並みを揃え手踊りをする。このとき「この殿内（とのち）、御庭、庭広さやし、御庭片端に、祝て上（お）せろ」と歌う。また嫩芽の前に子どもらは木と藁で小屋を作り、それぞれ田の神に白酒を捧げる。これを「しちやがま（節小屋）」という。祭りでは屋根の上に登り、白酒を口に含み3回吹き出して祓いをする。祭りが終わると、屋根に登って揺り崩す。さらに八月十五夜は盛装して会食し、月の出を待って手踊り、相撲、綱引きなどをして、夜明かしをして翌朝帰宅する。『奄美大島史』より

## ふれあい活動

9月13日（金）に八月踊りの練習と地域の方から島口を学ぶふれあい活動を実施しました。

今年も学習発表会で披露する島口劇の台本作成に取り組みました。今年は「ソテツの子（シティツクワ）」という「竹取物語」をベースにした創作劇です。例によって子供たちは馴れない島口に苦戦しながらも、地域の方の話す言葉を必死に書き写したり、しゃべったりしながら、標準語の台本を島口に改めていきました。

発表は11月2日の学習発表会と11月9日の町子ども島口伝統芸能大会で行います。



## 防災訓練

9月5日（木）、瀬戸内消防署から2名の消防士に本校いただき、防災訓練を実施しました。

今回は、地震→火災を想定した訓練で、消火器の取り扱い「ピノキオ」を学んだり、防災にかかわる講話を聞いたり、学びの多い時間となりました。また、職員にも災害時の具体的な動きを指導していただき、非常に貴重な時間となりました



## 総合的な学習の発表会

9月10日（火）、与路小4名と西阿室小2名でオンラインで繋ぎ、相互授業を行いました。西阿室小の児童は練習してきた三味線の披露、与路小は調べた与路の魅力を発表しました。これからもスターリンクのおかげでストレスなく相互授業ができそうです。



## 与路豊年祭

9月8日（日）に、毎年恒例の与路豊年祭が開催されました。天候にも恵まれ、島外からも与路島に縁のある方々にたくさん参加していただきました。ちびっ子や青壮年の奉納相撲や婦人会の島唄、最後にみんなで八月踊りを行い、大盛況の内に幕を閉じました。



## おもな10月の行事

- 3（木）薬物乱用防止教室
- 17（木）三島中学校集合学習会
- 18（金）三島小学校集合学習会
- 25（金）池地との交流学习（与路会場）
- 26（土）PTA与路港清掃